



地域日本語支援ニュース こだま 第 235 号

2013.6.13



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

=====

1■AJALT からのお知らせ■

- ・ 機関紙『AJALT』36 号発刊に寄せて 編集長 山本 紀美子
- ・ AJALT の著作教材を活用した
2013 年度 日本語教師のための夏の教え方講習会のお知らせ

2■進学進路ガイダンス情報■

高校進学説明会情報(6 月・7 月)

=====

1■AJALT からのお知らせ■

機関紙『AJALT』36 号 発刊に寄せて

編集長 山本 紀美子

今年も機関誌『AJALT』36 号を 6 月 10 日に発刊することができました。昨年 9 月から編集作業に取りかかり、原稿依頼、座談会依頼、取材、インタビュー、アンケート等のまとめ、執筆と目まぐるしい作業が続きました。2 月の末からは原稿入稿、校正の繰り返し、見ても見ても直したくなるという「ヤマイ」を乗り越えて、無事 36 号を手にすることができました。「こだま」ご愛読の皆様はこの機関誌を紹介し、ご覧いただければ喜びも倍加いたします。

◆特集 「ことばをとどける声の力」

シリーズ「私とことば」は詩人谷川俊太郎氏のエッセイです。詩人らしいことばに深い思いを持って書かれた文章に、谷川氏の詩が 3 編散りばめられています。ご自分の声で朗読してみてください。きっと、心が豊かになります。

36号の特集テーマは「ことばをとどける声の力」です。声にはどんな力があるのか、日本語教育に関する内容とは少しかけ離れたかのようなテーマですが、常に学習者と向き合って教授活動をしている我々教師にとって、声の力は大変重要な要素と言えます。

座談会では、声についてそれぞれの信念をお持ちの3人の方、呼吸法教師平川明子氏、日中技能者交流センター研修担当講師川上光信氏、AJALT日本語教師内藤真知子に、「声は言葉を載せてその人の心の底から満ちてくる想いを表出させるもの、それは自己実現に他ならない」という特集のテーマについて、深く語り合っていました。

◆互いに相手の記憶を操作し合う

音声工学がご専門の東京大学大学院教授峯松信明氏には、文系の人間にもわかりやすく「声とは、言葉とは何か」を科学の目で解説してくださいとお願いしました。「言語とは互いに相手の記憶を操作しあい、時には、相手の記憶を乗っ取るという操作を意味することになる」など、刺激的な内容です。一度読んだだけではこの謎は解けないかもしれません。

日本語学習者、日本語教師にとってうれしい情報の紹介もあります。峯松氏が中心となって開発された韻律トレーニング支援システム〔OJAD(Online Japanese Accent Dictionary)〕についてです。トレーニング後では驚くほど聞き取りやすくなっているそうです。

◆声であそぶ◆

京都日本語教育センター代表理事の西原純子先生には、日本語教育の手法を用いた社員研修の事例研究報告をいただきました。狂言という伝統の世界での声の魅力について「狂言—想像力をかきたてる声」として、また、昨年度AJALT公開講座で講師もお願いした、作家・演出家鴻上尚史氏の「表現のレッスン声であそぶ」では、思いっきり声を出すことの大切さ、楽しさを読み取っていただければと思います。

◆子供にとっての大きな自信◆

「地域の子ども日本語教室と声の力」、日本語力不足から教室で声を出すこと

すらできなかった子が、小さい声ながら凜として人前で発表する様子にはきつと胸を打たれることでしょう。声に載せて自分の思いを発するという、それがその子にとっていかに大きな自信につながったかということが読みとれます。

◆詩や言葉のリズム◆

「声による RHQ の表現活動」でも文字からでなく、音やリズム、詩の朗唱を通じて日本語の持つリズムを体得していく様子が綴られています。元の詩に自分のことばを当てはめて作った詩にはのびのびとした心の底からの思いが表出されています。詩や言葉のリズムを取り入れ声の持つ力を存分に生かした授業方法は日本語教育に多くの示唆を示すものとなっています。

◆さまざまな声の力◆

この他にも「留学生日本語プログラムにおけるシャドーイングの活用」「福祉の現場で学ぶ／働く外国人とことばの力」「日本語を学ぶ 10 代のための新しい教材」「個人授業の音声指導から」「電話する？メールする？」「オノマトペクイズ」など多方面から声の力を探っています。

他にも「海外だより」「学習者の作品」「IT で日本を知ろう」などレギュラー記事も充実しています。どうぞ、お手に取ってご覧いただき、感想などお寄せいただければ幸甚に存じます。今後ともご愛読のほどよろしくお願いいたします。

★ ☆ ★ ☆ ★

■ご購入希望の方は、当協会 HP よりお申し込みください。（定価税込 840 円＋送料）また日本語教育専門書店凡人社でもご購入になれます（お近くの書店を通してお取り寄せいただくこともできます）。冊数には限りがありますので、お早めどうぞ。
